

JIS

UDC 681.3 : 691.39

X 5767

開放型システム間相互接続

—管理情報の構造—

第4部 管理オブジェクト定義の指針

JIS X 5767⁻¹⁹⁹⁴

(2004 確認)

平成 6 年 10 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 6. 10. 1

官 報 公 示：平成 6. 10. 3

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（☎ 100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

開放型システム間相互接続

X 5767-1994

—管理情報の構造—

第4部 管理オブジェクト定義の指針

Information technology—Open Systems Interconnection—
Structure of Management Information—Part 4 :
Guidelines for the definition of managed objects

日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1992年に第1版として発行されたISO/IEC 10165-4 (Information technology—Open Systems Interconnection—Structure of management information—Part 4 : Guidelines for the definition of managed objects) を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、5.以降の規定内容は、原国際規格の内容を要約したものである。

1. 適用範囲 この規格は、管理オブジェクト定義を含む規格の制定者に次の項目に関する指針を与える。

- (a) 管理オブジェクト定義間の整合性の向上
- (b) 定義制定方式に関する、OSI管理規格群との互換性の保証
- (c) 共通の使いやすい書式構成、手続及び定義を規定することによって他の標準化作業グループとの作業の重複削減

この規格は、最終的に次のことを規定する。

- (a) 関連OSI管理規格と管理オブジェクトクラス定義との関係及びそれらの規格群の管理オブジェクトクラス定義による利用方法
- (b) 管理オブジェクトクラス、その属性、通知、動作及び振舞いを定義するために用いる次の規定を含む適切な方法
 - (1) 定義内で用いる参照方法の概要
 - (2) 定義内で用いる表記記号
 - (3) 整合性向上のために定義が従う指針

- (c) 管理オブジェクトクラス定義と管理プロトコルとの関係及び要求されるプロトコル関連定義
- (d) 管理オブジェクトクラス定義の書式・構造

この規格は、次のことを規定する規格の制定に用いる。

- (a) OSI管理プロトコルに従い転送され、操作される管理情報
- (b) 管理情報が関連する管理オブジェクト

この規格は、次のことについては規定しない。

- (a) 機能に固有な管理オブジェクトクラス定義及びクラス定義関連規格を制定するうえでの制限並びにそれらの定義の各管理環境への適用